

2010 年 3 月 25 日

熊本県

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

～熊本県とセブン-イレブン・ジャパン～

『地域活性化包括連携協定』を締結

～地産地消・県産品の販路拡大、地域の安全・安心等 7 分野で相互連携開始～

熊本県（県知事 蒲島 郁夫）と株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都、代表取締役社長 最高執行責任者<COO>井阪 隆一）は、2010 年 3 月 25 日（木）、地産地消と県産品の販路拡大、地域の安全・安心等の支援等 7 分野において相互の連携を強化し、熊本県内における地域の一層の活性化に資する『地域活性化包括連携協定』を締結いたします。

記

1. 協定の名称 『地域活性化包括連携協定』

2. 協定締結日 2010 年 3 月 25 日（木）

3. 協定締結の目的

熊本県とセブン-イレブン・ジャパンとの地域活性化に向けた緊密な相互連携・協働の取組による県民サービスの向上および地域の活性化

4. 連携事項

上記の目的を達成するために、次の項目について連携し協力していきます。

- ① 地産地消の推進と県産品の販路拡大に関すること。
- ② 観光の振興に関すること。
- ③ 健康増進及び食育に関すること。
- ④ 環境対策に関すること。
- ⑤ 地域及び暮らしの安全・安心、災害対策に関すること。
- ⑥ 子ども及び青少年の育成に関すること。
- ⑦ その他地域社会の活性化・県民サービスの向上に関すること。

＜ご参考＞

熊本県内のセブン-イレブン店舗 199 店舗（2010 年 2 月末現在）

熊本県と株式会社セブン-イレブン・ジャパンとの地域活性化包括連携協定書
第2条の規定に基づく具体的な連携事業例

(1) 地産地消の推進と県産品の販路拡大に関すること	
【既に実施しているもの】	■ 県産原材料を活用した商品の開発・販売及び販路拡大に関すること ・阿蘇ジャージー牛乳・あか牛・トマト等
【実施を予定しているもの】	■ 熊本の「食」の多様さを紹介する「キャンペーン」の実施 ・第1弾：平成22年3月26日（金）～4月12日（月） 第2弾：平成22年4月6日（火）～4月19日（月） キャンペーン名称「くまもと うまかったいフェア」
	■ 熊本県内の特産品をメインに、セブン-イレブンのオリジナル商品の開発と販売
	■ 県産農林水産物、加工食品等を活用した商品開発及び販売
【今後検討を進めていくもの】	■ 熊本県産米粉商品の共同開発と販売
	■ 九州、中国、関西圏などにおいて「熊本フェア」と銘打った商品の販売
	■ インターネットサービス「セブン-イレブンネット」での熊本県産を使った加工商品の販売
(2) 観光の振興に関すること	
【実施を予定しているもの】	■ 観光客へのセブン-イレブン店内トイレ施設の開放
	■ 県政情報の一環としての観光キャンペーンポスターの掲示
(3) 健康増進及び食育に関すること	
【既に実施しているもの】	■ 弁当、惣菜におけるカロリーや栄養成分表示
	■ お食事配達サービス「セブン・ミールサービス」を通して、バランスのとれた食事を提供。管理栄養士が監修したバランスのとれた本格的なお惣菜や簡単に調理できる食材セット等を提供
【今後検討を進めていくもの】	■ 「熊本食育弁当」の開発・販売 ・熊本県立大学と連携した弁当の開発・販売
	■ 「健康づくり応援弁当」の開発・販売

(4) 環境対策に関すること	
【既に実施しているもの】	■環境にやさしい「竹」の割り箸の使用
	■ 弁当の包装形態を従来からのラップ包装から「テープ止め」に変更（プラスチック原料の削減）
	■セブン-イレブン配送車両のCO₂削減 （配送車両の自主管理基準作成、配送車に新型車載端末設置＝エコドライブ意識向上）
	■店舗の電力使用量削減 ・ 蛍光灯にH f 型蛍光灯を使用 ・ 採光量に合わせて自動調整する連続調光装置導入 ・ I H式おでんウォーマーの導入 ・ L E D照明の導入
	■レジ袋削減の取組み ・ マイバック・マイ箸の利用促進、レジ袋不使用の声かけ実施
【今後検討を進めていくもの】	■地球温暖化防止県内統一行動（第2弾）への参加推進 （レジ袋削減、室内の冷暖房温度設定については既に実施中）
(5) 地域及び暮らしの安全・安心、災害対策に関すること	
【既に実施しているもの】	■セーフティステーション活動による地域の安全対策・防犯対策の取組み ・ 女性、子ども等の駆け込み対応（急病、怪我、不審者に尾行された時、迷子保護等地域の駆け込み寺として地域住民の安全・安心をサポート） ・ 認知症等による徘徊者の発見・保護のための通報体制の整備 ・ 緊急事態（災害・事故）に対する110番・119番通報の実施 ・ 県内各地での防犯訓練の実施 ・ 地域顧客への安全情報の発信・提供 ・ A T M機への「振り込み詐欺の注意喚起」表示 ・ 自主防犯（強盗・万引き等の防止対策）体制の整備 ・ 防犯カラーボール、防犯カメラ、非常通報装置等の店内配備
	■「災害時における徒歩帰宅者支援に関する協定」の締結（平成22年1月20日） ・ 災害時、徒歩帰宅者に対して水道、トイレの提供及びラジオ等で知った道路情報等を提供 ・ 「災害時帰宅支援ステーション・ステッカー」の店舗掲出による県民への周知・啓発を実施

【実施を予定しているもの】	■防犯ボランティア団体がパトロール等の活動を実施する際の集合場所としての店舗敷地の利用
	■災害時に食料品や日用品の調達に協力 ・「災害時における物資の供給に関する協定」の締結
【今後検討を進めていくもの】	■店内女性用トイレに、「女性相談窓口カード」及び「妊娠とこころの相談カード」の設置
	■「認知症サポーター養成講座」の受講促進
	■ハートフルパス協力施設としての登録推進
	■配送車ドライバー等による道路安全確保のための情報提供
(6) 子ども及び青少年の育成に関すること	
【既に実施しているもの】	■県内の小中高生を対象に行われる職場体験の受け入れ (県内の直営店を始め、既に実施している店舗を含め、順次協力店舗を拡大)
	■セーフティステーション活動による青少年健全育成の取組み ・未成年者への酒類・たばこの販売禁止、年齢確認の徹底 ・18歳未満の者への成人誌の販売・閲覧禁止、有害図書の区分陳列及び区分表示の実施 ・少年、少女の非行化防止等(近隣住民の皆さまの迷惑となるたまり場化の防止)
	■セブン銀行協賛「森の戦士ボノロン」をセブン-イレブン店頭にて無料配布
【今後検討を進めていくもの】	■熊本「子育て応援の店」「キャリア教育応援団の店」としての参加登録促進 ・乳児の授乳用ミルクのお湯の提供
(7) その他地域社会の活性化・県民サービスの向上に関すること	
【既に実施しているもの】	■自動車税の収納代行サービス
【実施を予定しているもの】	■県政情報等の広報啓発 ・県が選定したポスターを定期的に店頭に掲示
	■県内セブン-イレブン店舗内における「住民票の写し」及び「印鑑登録証明書」の発行
【今後検討を進めていくもの】	■九州新幹線全線開業に向けた観光キャンペーンに絡んだ取組み ・「九州新幹線全線開業」の告知とPRに係る協力 ・キャンペーンへの協力、ポスターやチラシの設置・掲示 ・キャンペーンに絡めた県産原材料を活用した商品の開発・販売